

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう特A 会津コシ1等米100%」

両沼地方稲作情報 第1号 令和7年3月10日

発行：福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2113)
" 金山普及所 (電話0241-54-2801)

J A会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店、(有)山一米穀店、
会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区



会津坂下農業普及所のHPでは、これまで発行した稲作情報を掲載しております。
その他、様々な情報を発信しておりますので、お気軽にご覧ください。

QRコード

URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36243a/bangehukyu-9.html>

○丁寧な種子予措により良好な催芽種子を確保しましょう。

↳選種、消毒、浸種、催芽までの播種前に予め行う一連の作業のこと

- ⚠ 浸種の水温や催芽機、ハウス内の温度管理を徹底しましょう。
- ⚠ 夜の過湿を避けるため、灌水は原則午前中に行いましょう。
- ⚠ ばか苗病の防除にご協力お願いします(詳細は号外参照)。

○作業の前に育苗ハウスを点検しましょう。

- ⚠ 1~2月は大雪でした。ハウスに損傷がないか確認しましょう。

1 気象情報(気象庁 東北地方 4月の気象(3か月予報 03~05月))

東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるとでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。

2 健苗育成のポイント(種子予措~育苗)

(1) 塩水選(良い種子を選ぶ)

- ・収量、品質向上のための基本的な対策で、塩水に浮いた不稔もみや登熟不良もみを取り除きます。
- ・購入種子でも塩水選を実施しましょう。

表1 塩水選用の塩水の作り方(水10ℓ当り)

	比重*	食塩	硫酸**
うるち	1.13	2.1kg	2.7kg
もち	1.10	1.6kg	2.0kg

*比重(g/cm³)、**硫酸(21%)

(2) 浸種(発芽を揃える準備)

- ・水温は10~15℃とし、十分な水量を確保します。
※低水温(10℃未満)は、発芽揃いを悪くしますので注意してください。
- ・積算水温(水温×日数)で100~120℃を目安に浸種を行います。
- ・酸欠と雑菌繁殖防止のため、定期的(2日に1回程度)に水を交換します。

(3) 催芽(吸水と加温でいっせいに発芽させる)

- ・温度は28℃とします。
※28℃以上では、もみ枯細菌病のリスクが増加します。
- ・休眠が深い種子もあるため、発芽状況をよく確認します。
- ・ハト胸率が80%以上になったら終了します(図1)。

⑨温度管理について

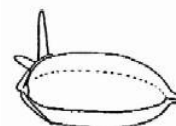
古い育苗器または催芽機では、使用前に実測温度とズレがないか温度計で確認しましょう。

(4) 播種(稚苗)

- ・播種前に水洗いして殺菌した育苗箱に床土を約2cmの深さに入れて準備します。
- ・風乾もみで150~200g/箱を均一に播きます。
- ・覆土は厚さ約0.5cmにします。
- ・発芽不良や覆土持ち上がりの恐れがあるため、覆土後は灌水しません。



○正しい催芽種子!
(はとむね状態)



×伸ばしすぎ...

図1 正しいハト胸催芽もみ

(5) 出芽 (しょう葉 約1cm、育苗器の場合)

- ・催芽と同様、**温度は28℃**とします。
- ・種もみが露出した場合は覆土の手直しをしましょう。
- ・芽の伸びすぎに注意し、**出芽率80~90%、芽の長さ5~10mmを目安**に緑化へ移行します。

(6) 緑化 (1葉期・施設内の場合)

- ・強い光に急に当てないように管理します。
- ・緑化中の温度管理は**日中25℃、夜間15℃**を目安に夜間の急激な気温低下に注意します (図2、表2)。
- ・**28℃以上の高温**や**加湿**を避け、**苗ヤケを防止**します。
- ・緑化期間は2~3日が目安です。

(7) 硬化 (2葉期~約10日間・施設内の場合)

- ・苗を徐々に外気温に慣れさせます。
- ・硬化温度は日中25℃以下、夜間10~15℃が目安です。
- ・灌水は**1日1回午前**を基本とし、午後の灌水は床土が乾燥しすぎている場合に行います。
- ・**夕方以降の灌水は苗の軟弱徒長の原因**になります。

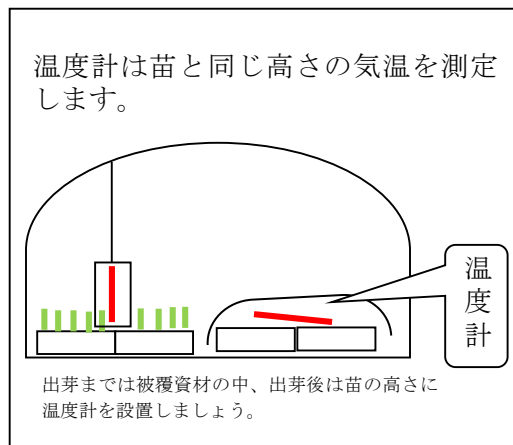


図2 育苗中の温度計の位置

表2 苗の生長と低温または高温障害 (参考:岐阜県HP掲載「今月の技術(令和4年3月31日)」より抜粋)

時期	温度	障害程度
2葉伸長期	5℃	5時間で伸びが止まる
2葉展開期	5℃	5時間で葉がしおれる
本葉期	30℃	呼吸、消耗が盛ん、異常徒長
	43℃	20~30分で苗の生長点が枯死、葉は枯死しない
	49℃	1分で枯死

3 育苗中の温度管理のポイント

昨年は、育苗期間中 (4/15~5/15) に最高気温が28℃以上の日が7日間ありました。高温は、水稻苗にとって致命傷となることが多いため、**涼しい管理**を心掛けましょう。

(1) 被覆素材の活用 (表3)

- ・播種時期と資材をうまく組み合わせましょう。
- ・**二重被覆の場合、苗ヤケに注意**してください。

表3 被覆資材の特徴

被覆資材	保温性	反射
シルバー系フィルム+不織布	◎注1	△
シルバー(表白)	○	○
発泡シート	○	—
アルミ蒸着	△注2	◎

参考: 新潟県 平成30年度研究成果情報

注1 二重被覆は温度が高まりやすいので、**苗ヤケに注意**が必要です。

注2 高温抑制効果は高いが、温度が上がりにくいため、**低温に注意**しましょう。

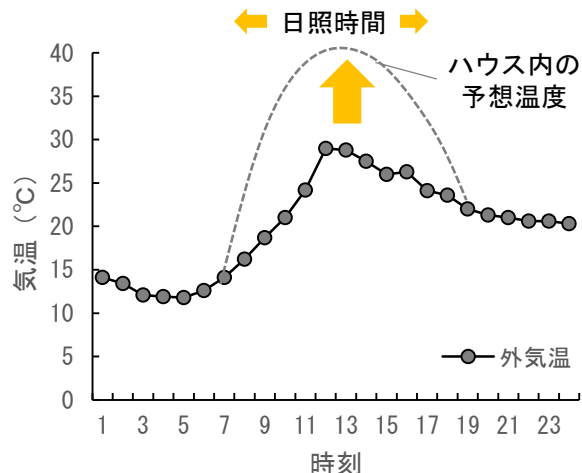


図3 令和6年4月29日の気温

(アメダス会津若松の気温とイメージ図)

(2) 朝早めにハウスを開ける

- ・**快晴の日は苗ヤケに注意**しましょう。
- ・**小さなハウスは室温が上昇しやすい**ため、小まめに温度管理を行いましょう。

(3) 病気苗を出さない管理

- ・育苗中の病気は一度発病すると治せないで、「**発病させない**」ことが重要です。
- ・適切な温度と湿度で管理しましょう。

②育苗ハウスの大きさについて
体積の小さいハウスは、日射による急激な温度変化に注意しましょう。

農作業安全運動実施中!

3/1~5/31

安全な農作業を心掛けよう!

